

エキスパートを求める企業と 職を求めるエキスパートを繋ぐ



求職者との面談や企業訪問など、2週間先までの行動計画を綿密に立てているという成田健代表取締役。

株式会社キャリアマネジメント

有効求人倍率が低迷し、一般求職者がハローワークなどで仕事を見つけるのが困難な中、医療関係や製造業の設計技術者など専門職の求人求職の需要は少なくない。そこに着目し積極的に仲介を行うビジネスモデルを確立。経営者や求職者との面談に力を入れてベストマッチングを提供する。

株式会社キャリアマネジメント

〒010-0001 秋田市中通四丁目14-16
アキタスクエアビル3F
Tel. 018-811-1074 Fax. 018-807-0185
http://www.career-management.co.jp
E-mail t-narita@career-management.co.jp

有能な人材と盛業企業を仲介する

秋田市に本社を置く人材紹介事業の「株式会社キャリアマネジメント」は、医師、設計者、品質管理者など高度なスキルを持つ専門職の求職者と、有能な人材を登用したい企業を仲介する会社。

代表取締役の成田健さんは、9年ほど前に人材紹介業の会社に就職。そこから独立して秋田県庁第二庁舎内の創業支援室に事務所を構えて3年間過ごしたのちに、現在の秋田駅前前のビルに移った。

社業の伸張を目指して即戦力となる有能な人材を探し求める企業は少なくない。同時に、一層のやりがいや好条件の就労を目指す専門職の転職

希望者も多い。それらを仲介し、成約になった場合に当該企業から紹介料を頂くというビジネスモデルだ。

「年間成約数は20~30件程ですが、そのためにはその約3倍の転職希望者と面談することになり、その前段階の書類審査では更に約3倍の数に目を通していきます」(成田社長)

人材に投資しない会社は伸びない

成田社長は「人材投資」という言葉をよく使う。たとえば、東京から秋田にUターン就職を希望する人は多いが、年収面で折り合いがつかずに仲介がまとまらないケースが少なくない。「設備投資をする経営者はいくらかいるが人材に投資しようという経営者は多くない」というのが成田社長の弁。従来の給与体系のしがらみもあるのだろうが、そこにとらわれていると有能な人材の確保も難しいということだ。

本業のかたわらNPOで啓蒙活動

本業のかたわら、成田さんは今年5月にNPO法人「switch on!(スイッチオン)」を立ち上げた。こちらは、社会に出る前の若者が「やる気」を起こすきっかけとなるような講演会や、創業間もないベンチャー企業経営者たちの連携を促すための勉強会などを企画し開催することを主たる活動内容にしている。



オフィスはシンプルな構成。社長席の横に求職者面談用のテーブルがある。(写真上)
会社は秋田駅前前のオフィスビルの3階。(写真中)
創業以来、面談した求職者数は万単位になっているという。(写真下)

「スイッチオン!」という法人名には、まさに「やる気」のスイッチが入る後押し、スイッチが入りかけている人の後押し、成田さんの言葉を借りれば「闘える若者を育成したい」という、熱い思いが込められている。



自社からの情報発信やブログの更新などでインターネットは最大限に活用している。社長ブログはほぼ毎日更新。成田社長の熱い思いが伝わってくる。